

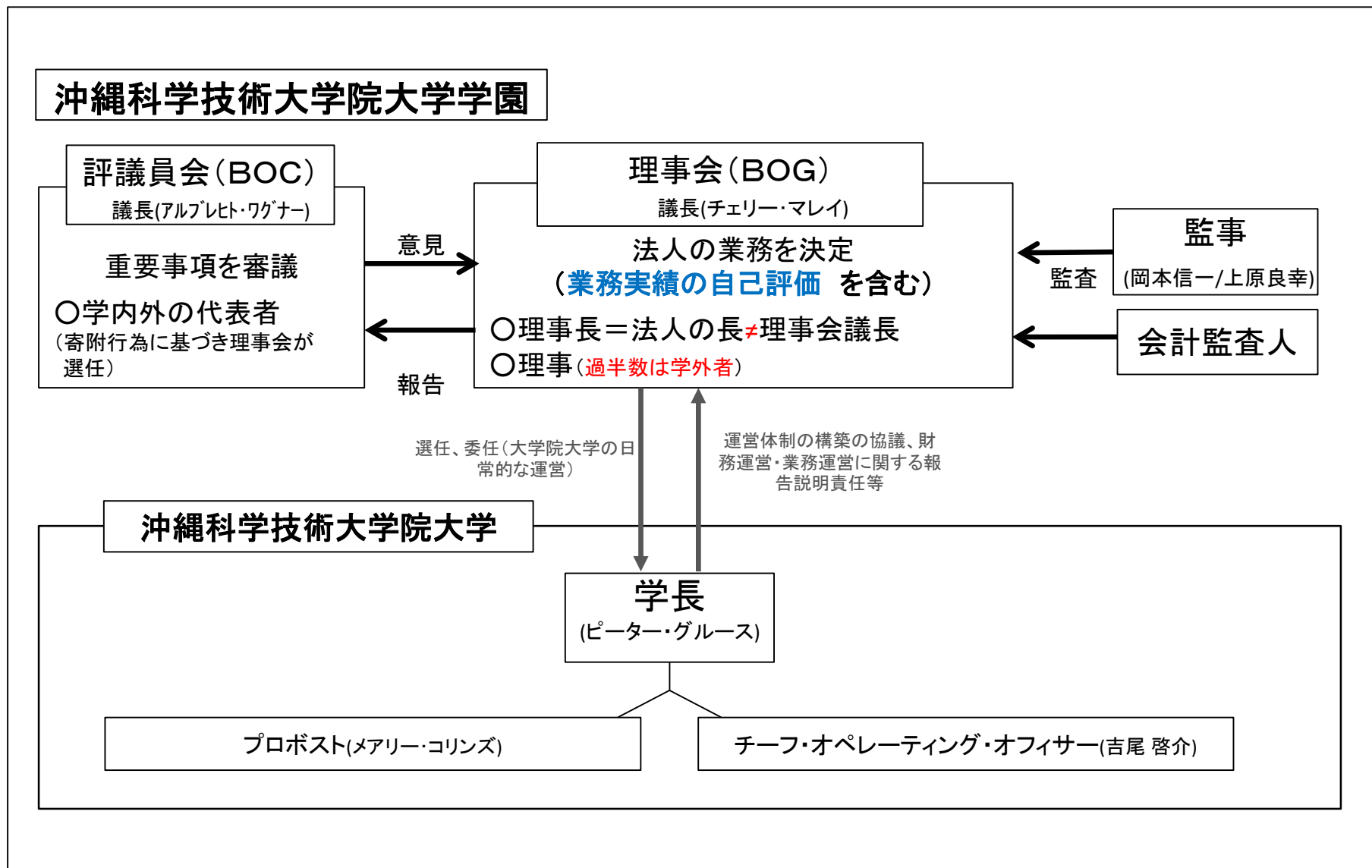
沖縄科学技術大学院大学学園法附則第14条に基づく検討に向けた
OISTの取組等に関する評価に係る中間取りまとめ
参考資料

1. 組織運営	P1
2. 教育研究	P7
3. 沖縄の振興及び自立的発展への貢献	P18
4. 広報、情報公開、その他法令遵守等	P27
5. 財務	P32

1. 組織運営

- 沖縄科学技術大学院大学学園の運営体制
- 沖縄科学技術大学院大学学園の理事
- 沖縄科学技術大学院大学学園の評議員
- 沖縄科学技術大学院大学の運営体制
- 沖縄科学大学院大学学園の組織図

沖縄科学技術大学院大学学園の運営体制



沖縄科学技術大学院大学学園の理事 (常勤2名、非常勤17名)

令和2年1月時点

 <p>理事長 (常勤) ピーター・グルース 前 マックス・プランク学 術振興協会会長【学長】</p>	 <p>副理事長 (常勤) ロバート・バックマン ★ 元米国国立衛生研究所・ 神経疾患・脳卒中研究所 副所長 【シニアレベル・エグゼ クティブ】</p>	 <p>議長 チェリー・マレイ ハーバード大学教授（元 米国エネルギー省科学局 長）【大学経営】</p>	 <p>副議長 有馬 朗人 ★ 元（財）日本科学技術振興 財団会長、武蔵学園長、 （元東京大学総長、元文部 大臣）【大学経営】</p>
 <p>安仁屋 洋子 琉球大学名誉教授 【沖縄振興】</p>	 <p>カーティス・カラン プリンストン大学物理学 ディスティンクイッシュ トプロフェッサー 【科学者】</p>	 <p>リタ・コルウェル メリーランド大学特別教 授、ジョンズ・ホプキン ス大学特別教授（元全米 科学財団理事長） 【大学経営】</p>	 <p>セナパティ・ゴバラクリ シュナン Axilor Ventures会長 【その他の組織経営】</p>
 <p>ジェローム・フリードマン ★ マサチューセッツ工科大学 教授【科学者】</p> <p>1990年ノーベル 物理学賞受賞</p>	 <p>セルジュ・アロシュ コレージュ・ド・フラン ス名誉教授【科学者】</p> <p>2012年ノーベル 物理学賞受賞</p>	 <p>橋本 和仁 国立研究開発法人 物質・材料研究機構理事長 【科学者】</p>	 <p>小谷 元子 東北大学原子分子材料科学 高等研究機構長【科学者】</p>
 <p>K. ヴィジェイ・ラガバン インド科学技術省バ イテック 局長、インド国立生命 科学研究センター ディスティ クイッシュト プロフェッサー 【その他の組織経営】</p>	 <p>黒川 清 ★ 政策研究大学院大学客員 教授（元内閣特別顧問、 元日本学会会議会長） 【その他の組織経営】</p>	 <p>エルヴィン・ネアー マックスプランク生物 理化学研究所名誉所長 【科学者】</p> <p>1991年ノーベル 生理学・医学賞 受賞</p>	 <p>尾身 幸次 NPO法人STSフォーラム理事長 （元内閣府沖縄及び北方対 策担当大臣）【沖縄振興】</p>
 <p>野依 良治 国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター長 【大学経営】</p> <p>2001年ノーベル 化学賞受賞</p>	 <p>アルブレヒト・ワグナー ドイツ電子シンクロト ロン研究所名誉所長 【大学経営】</p>	 <p>ジェームス・比嘉 Philanthropic Ventures Foundation 事務局長、 ユニクロ アドバイザー （元Apple シニアディレ クター）【沖縄振興】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敬称略 ・★は学園設立委員・運営委員。 ・【 】は選任区分。

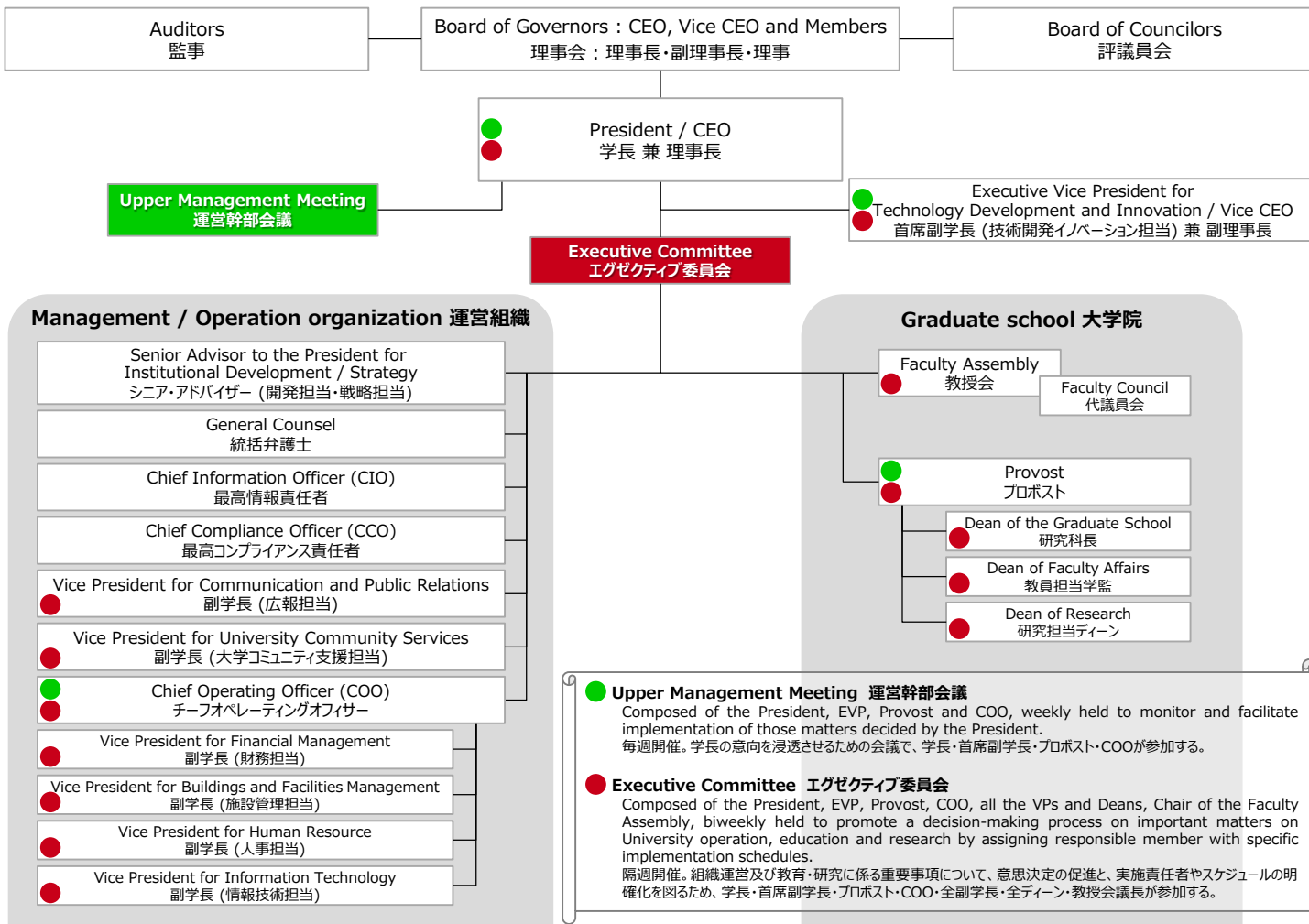
沖縄科学技術大学院大学学園の評議員（38名）

令和2年6月時点

氏名	現職等
ゲイル・トリップ	沖縄科学技術大学院大学副学長(大学コミュニティ支援担当)
メアリー・コリンズ	沖縄科学技術大学院大学プロボスト
アリ・ガンジロー	沖縄科学技術大学院大学副学長(施設管理担当)
ミリンダ・プロヒッタ	沖縄科学技術大学院大学教員担当学監
吉尾 啓介	沖縄科学技術大学院大学COO (チーフ・オペレーティング・オフィサー)
ジョナサン・レイ	沖縄科学技術大学院大学副学長(広報担当)
ウルフ・スコグランド	沖縄科学技術大学院大学研究科長
エリック・デシュッター	沖縄科学技術大学院大学教授会議長
土肥 義治	(公財)高輝度光科学研究センター理事長
フレデリック・ギルマン	カーネギーメロン大学物理学部ブール理論物理学教授、カーネギーメロン大学マクウィリアム・コスモロジー・センターセンター長
キース・ホジソン	スタンフォード大学化学学部長
松本 良	東京大学名誉教授、明治大学研究知財戦略機構特任教授
ケン・ピーチ	オックスフォード大学量子治療癌研究所名誉教授
アルブレヒト・ワグナー(議長) ※理事兼任	ドイツ電子シンクロトロン名誉所長
安仁屋 洋子 ※理事兼任	琉球大学名誉教授
長浜 善巳	恩納村長
益戸 正樹	内閣府沖縄振興審議会委員、Uipath株式会社特別顧問
高安 藤	元在沖米国総領事館広報・文化担当補佐官
富川 盛武	沖縄県副知事

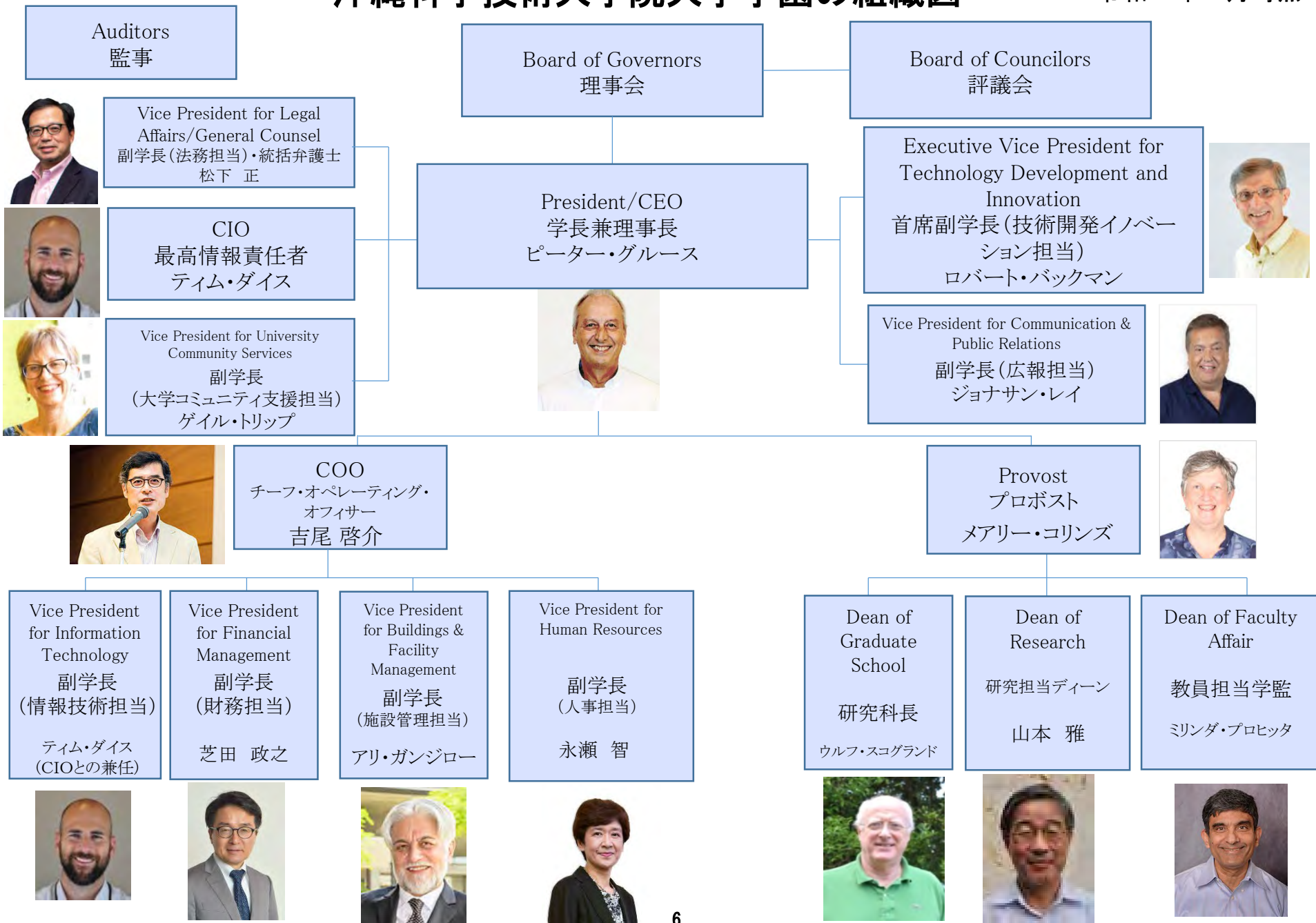
氏名	現職等
山崎 秀雄	琉球大学理学部長
和宇慶 江里子	アミークスインターナショナル幼稚園園長
有馬 朗人 ※理事兼任	学校法人根津育英会武蔵学園学園長、公立大学法人静岡文化芸術大学理事長
モンテ・カセム	大学院大学至善館学長
ラルフ・アイヒラー	前スイス連邦工科大学チューリッヒ校学長
平澤 冷	(財)未来工学研究所理事長、東京大学名誉教授、北陸先端科学技術大学院大学経営協議会委員
梶山 千里	福岡女子大学学長・理事長、元九州大学総長
白井 克彦	早稲田大学名誉顧問、前放送大学学園理事長、前早稲田大学総長、前沖縄振興審議会会長
東 良和	沖縄ツーリスト代表取締役会長
デイヴィッド・スウィンバンクス	オーストラリア シュプリング・ネイチャー会長、ネイチャー・インデックス創設者、デジタル・サイエンス相談役、日経サイエンス代表取締役副社長
田中 信明	元国連本部事務次長、ガイアコンタクトCEO
フィリップ・ヨー	EDIS(エコノミック・デヴェロップメント・イノベーション・シンガポールPte Ltd)会長、アキュロン・テクノロジー・リミテッド会長
ユルゲン・ツェルナー	シュティフトゥング・シャリテ エグゼクティブ・ボード
ナセル・カゼミニ	National Ethnic Coalition of Organizations (NECO) チェアマン
久能 祐子	S&R財団 共同創業者兼最高経営責任者兼理事
リー・ジェームス・オリオーダン	アイルランドハイエンドコンピューティングセンター(ICHEC)コンピューテーションリサーチサイエンティスト
川上 好久	沖縄振興開発金融公庫理事長
芝田 政之	沖縄科学技術大学院大学副学長(財務担当)
永瀬 智	沖縄科学技術大学院大学副学長(人事担当)

沖縄科学技術大学院大学の運営体制



沖縄科学技術大学院大学学園の組織図

令和2年5月時点



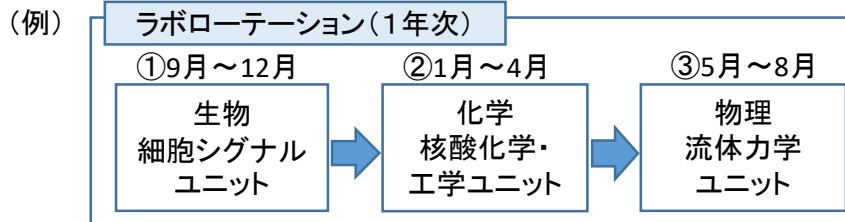
2. 教育研究

- 沖縄科学技術大学院大学の学際性
- 沖縄科学技術大学院大学の国際性
- 学生の入試状況
- 博士課程修了生の進路
- 令和元年度研修等参加者の出身大学一覧
- 「ネイチャー・インデックス」における評価
- 論文の質について
- 研究ユニットのサイクルと予算配分について
- 国際共著率について(インサイト)
- 国際共著率について(ネイチャー・インデックス)

沖縄科学技術大学院大学の学際性

ラボローテーション

- 学生は、1学年次に3つの研究ユニットで学び、そのうち少なくとも1つは専門分野以外の研究ユニットを選択することが義務付けられている。



学際的研究

- 物理学、化学、神経科学、海洋科学、環境・生態学、数学・計算科学、分子・細胞・発生生物学の7つの分野を基礎として、80の研究ユニットにより、学際的研究が行われている。

(参考) 研究ユニット間の協力関係

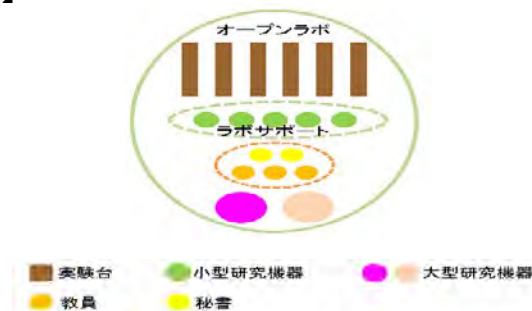


(注) 異分野間における共同研究の相対数を矢線の幅で表す。

研究施設

- 同じ研究棟に、異なる複数の分野の研究室を配置。
- ラボスペースは、間仕切りの少ない開放的なオープンラボ形式。

【概念図】



- 研究機器の共用化により、研究者の学際的交流を促進。
※共有研究機器の割合: 72.1% (金額ベース)(令和2年1月時点)

出典: OISTホームページ、
文部科学省「国立大学等の特色ある施設2014」等

沖縄科学技術大学院大学の国際性

英語環境

- 教育と研究のみならず、事務処理手続きまで全て英語で実施(公用語が英語)。
- OISTIに「国際業務部署」は設けられていない。

- 研究・教育のみならず、事務処理も含めて英語が公用語となっている点は、国内で唯一。
- 英語が公用語のため、事務部門は、英語資料について必要に応じて日本語に翻訳。
- 職員は原則、ビジネスレベルの英語能力を前提に採用。

<英語対応の状況>

外国語による授業科目【大学院】

職員の英語力

	H26年度	H35年度目標		H26年度	H35年度目標
➢ 東京大学	11.3%	→ 25.4%	➢ 東京大学	6.2%	→ 25.0%
➢ NAIST	33.9%	→ 56.3%	➢ NAIST	17.9%	→ 26.9%
➢ OIST	100%		➢ OIST	全員ビジネスレベル	

平成27年度スーパーグローバル大学創成支援事業「構想調書」

国際公募

- 大学の国際競争力を高めるために、国際公募を積極的に実施。
- グローバルスタンダードである9月入学の学年歴の採用により、外国人の受入れの障壁をなくしている。

- OIST Café (大学院説明会)や国内外の学生等を対象としたリサーチインターンシップを提供。

<学生>

全245人(第1～8期生)、52の国・地域
※令和2年5月時点(卒業生含む)

●主な出身大学等

カリフォルニア工科大学、ケンブリッジ大学、
ワイツマン科学研究所、東京大学、京都大学、
奈良先端科学技術大学院大学 等

